



案の定、寝取られて
性の捌け口にされました♡

人妻の肉感ボディで
町内会の男達を
無自覚に誘惑していた私は、

基本CG 18枚

**この物語はフィクションです。
登場する人物・名称は架空であり
実在のものとは一切関係ございません。**



断らない性格だ、
とよく言われます…。

私は我妻 ホノカ。
今年で30歳になります。



既婚で、
今は片田舎の新居で
夫と二人で暮らしています。


実際、
周りに流されるままに
生きてきたと思います。

子供の頃は
親の言うことをなんでも聞いて



学生時代には
付き合った彼の言うことを聞いて

そっけなくお母さんの言うことを……。



そんな流されるままに抵抗しない
私の性格が悪かったのでしょうか…

まさか…
こんなことになるなんて…♡

1
か
月
前
—

あら、
あなた、帰ってたんですね。
おかえりなさい。


ああ、ただいま
ホノカ。

今日はあなたの好きな
ブリの照り焼きですよっ

あは

今日はメシはいいよ、
帰りに部長と飲んできたから

あ...
そんな...



なんだ？
付き合いがあるんだから
しょうがないじゃないか

わかっています…。

私たちはこの片田舎に
越してきたばかり。

人間関係の付き合いなども
あるのでしよう…

ですが…せめて連絡くらい、
と思ってしまう自分もいます。

傍目から見ても分かるほど、
私たち夫婦の関係は
すでに熱が引いている状態でした…。

でも、私にもきつと
原因はあるとも思います

何事も言い出せない
この性格……。


はあ…

ニ/ん…

このせいで私たちの間の亀裂は
狭まることがないのですから……。



町内会前



それは私が住む田舎の
町内会の集会有る初夏のことでした。


夫は仕事漬けで来られないとのことだ、
代わりに私が
参加することになりました。

早速、町内会の長らしき方が
出迎えてくれました。

やあ、
君が我妻さんのトコ
ホノカさんだね？

いやあこんな遠くまで
ご苦労だったね

いえいえ、そんな
今日はよろしくお願いします。

A woman with long dark hair, wearing a brown short-sleeved top and a black skirt, stands on a dirt path in a village. She is looking towards a man whose back is to the camera. The man is wearing a black suit. The background shows traditional Japanese buildings and green hills.

最初は緊張もありましたが、
村長さんはとても良い人柄で
次第に安心していききました。

彼は私のことを気遣いながら
町内会の中も案内してくれました…。



町内会・広間

ここが集会で使う広間だよ。

いやあ…それにしても
こんな若い子が入ってくれるなら
この町内会もまだ安泰だな

がははW

いえ、そんな…

そうだ、
今日は暑かっただろう、
ささこれでも飲んで

そう言って彼はコップに入った
冷たいお茶を差し出してくれました。
冷たいお茶は
私の乾いた喉を潤してくれます…。

きっと前もって
用意してくれていたのでしょう。



こんな優しい人たちなら…
こんな私でも
うまく近所付き合いが
できそう…。

私は最初は、
そんな風に考えていました…。

さらに数日後……

町内会では私にも帳簿の管理など結構大事な仕事を任せられました。

会長さんに

「君ならできる、頼んだよ」と軽く言われましたが、

後になって、

体良く面倒ごとを

押し付けられたのだ、と気づきました…。

……はあ。

ですが、気の弱い私はとても仕事を変わってくれなと言えません。

そういえば、
この町内会は私以外は全員男の方で
年配の方が多い印象です。

若い女性がもの珍しいのか
よく視られているみたいです…。

この日、私は書類整理をしていました。

うん...

ええつと...

必要な書類は
どのファイルに...

んんんんん...

んんん

んんん

うんせき……

ホノカさんはほんま
ええカラダしとる……♡

汗ばんだ尻
突き出しとる……

あんな肌はだけよつて…
ワシらを誘惑
しとるんとちゃひかっ♡

ムフ..v

ムフ..v

ムフ..v

ゴウリと喉音を鳴らしながら
ジロジロと私のカラダを眺める男たち。

今思えば、彼らは私のことを
初めから淫らな目で
見ていたのでしょー…。

ですが仕事に手一杯の私は、
私に集まるいやらしい視線にも
気づくことはありませんでした…。

ドキ

ドキ

ドキ

数日後……

ちよつとホノカくん、
困るよこれは…。

あせ..

あせ..

えっ…!?

見ると、帳簿管理をする上で
必要な予算の申請ができていないというのです。

しかし私は、そもそも
そのような申請が必要だと
知りませんでした。

ハッ
ホントに困るんだよあ…。
こんなミスされるとあ…。

はい…
すみません…。

でも…このままだと
旦那さんにも
悪評、立つちやうかもねえ？

いやあ、田舎は狭い社会だからねえ…
人の口に舌は立たないって言うし…

そ、そんなっ…
じゃあ私、どっすれば…っ

うわ…

ㅋㅋㅋ…

そうだなあ…。

会長は下卑た笑みを浮かべながら
私との距離を詰めてきました。



いやあ……
キミがどあつしてもと言っなら、
ボクがなんとか庇って
あげられないこともないけど……ねぇ？

パッ……！

タタで尻ぬぐい
してあげるわけにもいかないし……
ボクだって忙しいんだからw

お、お願いしますっ……！！
私のミスで
旦那に迷惑はかけられませんっ……

そうだなあ…

…っ!?

そうやって私の横に立った会長が
私のお尻を服の上から
手の甲で撫でてきました。

ヒキ…

フ

フ

君の誠意次第では、
手を尽くしても
いいんだけどねえ...♡

はい...

こんなの、
おかしい...♡

はあ♡

なぜか、お尻を撫でられただけで
体が熱くなりアソコがジューンと濡れて...

夫としていた時には
こんなことに
なったこともないのに...♡

トロオ...


~~~~~

二、三...

普段からお茶に  
媚薬を盛った甲斐があった♡

この反応、

ちゃんと効いてるみたいだねえ

まあ、本人には当然教えないケド...w。

ドキ

ドキ

ムキっ

ん...?  
抵抗しないどころか  
息が荒くなってるよ?

そっぴや旦那さん、  
忙しくされてるみたいじゃないか...  
ご無沙汰、なんじゃないの??



あなっ...

か、  
会長さんっ...♡

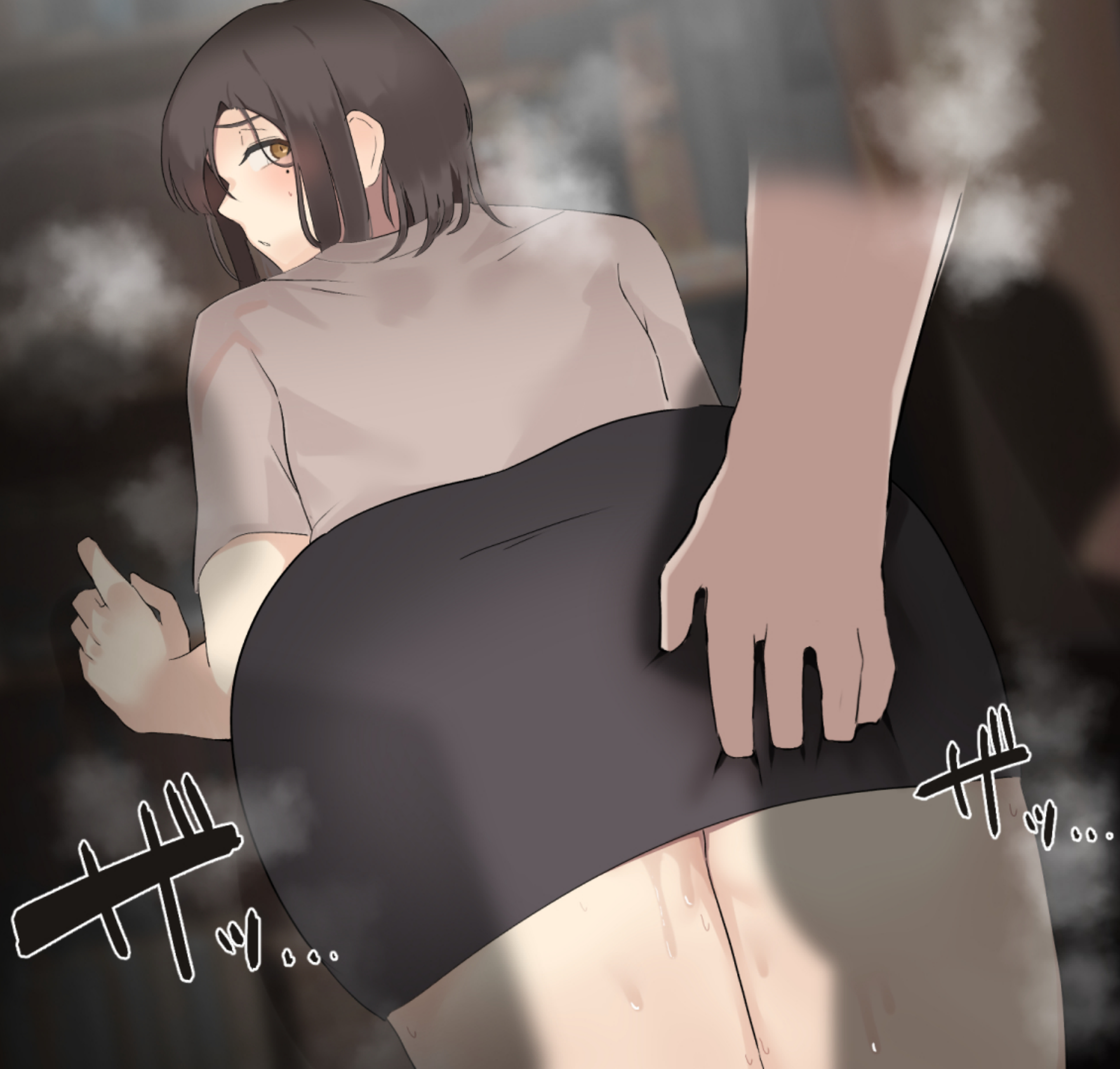
私はなぜ...  
こんなはじけたら声を  
あげてるの...♡  
♡...♡...♡

私が抵抗しないのをうしろと  
撫でるだけでなく、  
あからさまに揉みしだかれます...。

んっ...

んっ...

それはっ...!!♡





突然のことに混乱し  
身を動かさずにいること…

えっ……!?

くくくく……

示し合わせたように  
扉から他の男性たちが  
ソロソロと入ってきました。

へへ…かわいい声  
上げるじゃないですかあ…  
奥さん…

やつ…  
ちゅっ…!!

うお…!!  
乳でっか…♡  
こんなスケベな乳  
見たことないよ…♡

あつという間に男達に囲まれた私は  
されるがままに、  
身体をまさぐられてしまいました…。

むっ…♡

ガッ



そんな...っ  
皆さんまで...っ...っ...っ

んんん  
ガキッ

ガキッ

なんでって...  
そんな歩く18禁みたいな身体で  
誘惑してたのはアンタだろう

ガキッ

はっ、無自覚ってか？  
ますますスケベ女じゃないか...♡

そ、そんなつもりは...っ  
んんんっ♡



はあっ...はあっ...♡

こんなの  
絶対おかしいうっ!!

おかしいうっ...

はあっ

息が荒い...。  
体が熱い...っ。

はあっ

身体が全然抵抗しないっ...  
というか...私...

男の逞しい手に好き勝手まわらされて  
感じちやってる...っ♡

はあっ

はあっ

はあっ



トロン

は は

うう……私……  
自覚してなかっただけで  
本性はこんなスケベな  
人間だったのかしら……♡

はあ

奥さん、そんなトロ顔して

揉まれただけで  
感じてるんですか？

太もも  
ムっチムチだな……♡  
揉み心地最高っ♡

ドキ

そっじゃ……

ムッパッ



心が  
ぐわぐわぐわぐわ

つつんん…!?





急に口に  
舌を捻じ込まれっ…!?

顔を掴まれて  
逃げられない…っ♡

うわっ  
うわっ

はあっ

こんな強引なキス…  
旦那にも  
されたことない…っ♡

しゅっ



強引な粘膜の接触到  
思考が支配されて…

ドキ

ん

ずるりりり

ドキ

私は何も考えられなく  
なっていました…♡



舌の粘膜の絡み合いに  
蕩けていたら...

っっっ...!?

は

!?

後ろの男が  
汗ばんだうなじさっ...♡

感じたことのないゾワリとした感覚に  
全身の末梢神経に  
電流のような刺激が流れました...っ♡

はあはあ…♡  
ホノカちゃん…  
感じやすいんだねえ…♡

はあ♡  
おじさんホノカちゃんの汗の味  
覚えちゃったよ…♡

はあ♡  
そんな  
恥ずかしい事…♡

はあ♡  
私は羞恥と快楽で頭が真っ白になり  
全身が性感帯になってしまったようです…♡



がきゅ

ああ……  
やっぱり私…

がきゅ

ぐふ…  
仕上がってきたねえ…  
ホノカちゃん♡

そろそろ  
本番行ってみようかし…♡

ぐらゅ

このまま犯されちゃうんだ…

「でも私が悪いんだから…  
しょうがないよね…♡」

がきゅ





!!!

!!!

あぐっ...!?



…っ!!

後ろから押し倒されて  
四つん這いにされて…っ

容赦なく  
スカート捲られてるっ…っ♡

ふふ…ホノカちゃん…  
バレたくないっこのなら、  
責任、取らないとねえ♡



私の腰の上に会長の  
お、オチンポがっ……

な、なんて  
重量感なのっ……♡

こんなので犯されたら  
私、絶対狂っちゃう……っ♡

女はチンポに  
従うしかないんだって  
わからせられちゃう……っ♡  
っ!!っ♡

ズ  
ズッ……  
ズッ……  
ズッ……





どれどれ……  
ホノカちゃんの  
ココは……♡

んん…っ入口い  
おちんちんで  
なぞられてるっ…♡

ビクンッ

うわあ…♡  
見事に水漏れしちゃってるなえ

こんな淫乱な雌穴は  
おじさんが  
栓をしてあげる…よッ!!♡





おほオオっ...!!♡♡♡



**体験版はここまでになります！**

**彼女が寝取られ、快樂墮ちしていく様子は  
ぜひ、製品版にてお楽しみください♡**

**製品版は、1920\*1440の  
高画質版を収録しております。  
文字無し差分、PDFファイルも同梱!!**

自身の都合と価格を考慮するように

ご注文は前内閣府のホームページへとお願いいたします。





あがつま  
**我妻 ホノカ**

今年で30歳になる新妻だが、  
夫が仕事漬け生活になり  
孤独を感じる日々を過ごしている。

**特徴：**

**泣きボクロ・乳がデカイ**

引っ込み思案な性格で  
なかなか自己主張ができず、  
他人に流されやすい。



夫の転勤で、とある片田舎の村に引っ越してきたホノカたち。

新妻のホノカは、

仕事漬けに生活の夫に代わり

町内会の集会へ参加することになるが…





この町内会——

そこは性欲を溜め込んだ

中年男たちの集まりだった……!!

ホノカさんはほんま  
ええカラダしとる……♡

汗ばんだ尻  
突き出しよつて……

ムフ..v

あんな肌はだけよつて…  
ワシらを誘惑  
しとるんとちゃうか?♡

彼女は無自覚に身に纏う色気で  
町内会の男たちを誘惑してしまう♡

ムフ..v





押しに弱いほのかは己が失態を隠すため  
村人たちの欲望に吞まれていく——

『私が悪いんだから、  
私が我慢さえすれば——…っ♡』



その後、弱み握られ、媚薬を盛られた彼女は  
男たちに身体を弄ばれるように——♡





おお...いいぞ、  
ホノカさん...♡

会長さんはおっぱいで  
ぎゅっぎゅっ...って圧迫されるの  
好きでしたよね...♡

両手で抱えきれない乳を圧迫して  
極太の竿を刺激します...♡



くっさい私の尿の匂いが  
部屋に充滿し....

ホカホカのオシッコが  
ポウルの中から  
湯気を立てています...♡

奥さん、人前で放  
尿へコっちやっつて

私は羞恥と  
尿意からの解放感で  
放心状態になってしま

# 輪姦・串刺し3P・パイズリ・中出し♡



ん...っ♡

舌の上で、  
チンポが膨らんできたのを  
感じました...♡  
射精が近いようです♡

んっ...ふっ...ふっ...っ!!!  
ふふっ...っ♡  
ザーメン出して...っ!!!♡

口の動きとハキッ  
射精へと誘います



しかし、肩で息をする私の周囲には  
まだまだギンギンになった  
チンポが獲物を狙うように構えています...♡

裸の女体を前にして  
男の性致は尻を叩くには無

# 自身の弱さと孤独を埋めるように 彼女は町内会専用の肉便器へと墮ちていく...♡